

■池田満寿夫 版画家・作家・映画監督。世界的な版画家になった後、芸術のさまざまな分野に挑戦し続けた。

いけだますお

帝人疑獄事件1934= 旧満州の奉天市で大衆食堂を経営する家に生れた。

日中戦争始・1937= 3歳：

そこで働く女性たちに決定的な影響を受け、

日米開戦・1941= 7歳：この頃には、人間関係のすべてを知ってしまうような一方、マザーコンプレックスの幼時性も強かった。

創価学会検挙1943= 9歳：

敗戦・1945=11歳：母と郷里の長野市に引き揚げ、市立柳町小学校に編入。

新憲法施行・1947=13歳：学制改革の市立柳町中学校に進み、担任教諭の決定的な影響を受け、画家を志す。

三大事件・1949=15歳：県立長野北高校に入学、油絵制作、読書、映画鑑賞に熱中。

朝鮮戦争始・1950=16歳：「橋のある風景」が第一回全日本学生油絵コンクールでアトリエ賞となり、自信を持つ。

独立回復・1951=17歳：

メーデー事件・1952=18歳：卒業して上京、東京芸術大学を受験するが、不合格。両親の反対を押し切り、国画会研究所で学ぶ。

TV放送始・1953=19歳：この間、似顔絵などで生活をたてながら、油絵を書きつづけ、自由美術家協会展で初入選。

自衛隊発足・1954=20歳：3年連続して不合格となり、進学を断念。自由美術家協会展もすべて落選し、以後団体展に出品せず。

55年体制始・1955=21歳：*既成美術団体否定を掲げ、グループ{実在者}を結成。

国連加盟・1956=22歳：{実在者}展の一環として油絵個展を開催。瑛九主宰のデモクラート美術家協会に入り、その助言で色彩銅版画を制作しはじめ、「池田満寿夫エッチング集」を刊行。

なべ底不況・1957=23歳：第1回東京国際版画ビエンナーレに入選。

イヌカト事件・1958=24歳：生活費を得るため、エロチック銅版画集を自家出版。

美智子妃・1959=25歳：江戸川乱歩の実弟平井通の依頼で豆本の制作を始める。

安保闘争・1960=26歳：*第2回東京国際版画ビエンナーレでドイツの美術評論家の推薦により文部大臣賞、一躍脚光を浴びる。

イタイ病始・1961=27歳：初の「池田満寿夫銅版画展」を開催したが、冷たい反応。パリ青年ビエンナーレ版画部門優秀賞。

全国総合計画1962=28歳：諸展に出品。第3回東京国際版画ビエンナーレで東京都知事賞。

東京オリンピック・1964=30歳：第4回東京国際版画ビエンナーレに「夏」ほかで国立近代美術館賞。

大学紛争始・1965=31歳：リュブリアナ国際版画ビエンナーレで4等。ニューヨーク近代美術館で日本人として初めて個展を開催、大成功をおさめる。

いざなぎ景気1966=32歳：奨学金を得て、ヨーロッパ視察。第1回クラコウ国際版画ビエンナーレで優秀賞。ベネチア・ビエンナーレで版画部門大賞を受賞し、版画家として最高の評価を得た。フォード財団の奨学金でロサンゼルスに行き、初めてリトグラフを制作、転機となる。郷里の長野で「池田満寿夫銅版画展」を開催。

美濃部都知事1967=33歳：芸術選奨文部大臣賞。ドイツに留学

全共闘ピーク・1969=35歳：リュブリアナ国際版画展ユーゴスラビア芸術アカデミー賞。ニューヨークにスタジオを借り、以後滞在。

大阪万博・1970=36歳：クラコウ国際版画ビエンナーレで「夢」、アメリカで「ファッション」買上げ。アメリカ永住権を獲得。

ドルショック・1971=37歳：アメリカで「スフィンクス」が買上げ。

日中国交回復1972=38歳：アントワープ国際文化書籍展金賞。

石油ショック1973=39歳：

その後、小説を書き始め、

JALハイジャック・1977=43歳：「エーゲ海に捧ぐ」で芥川賞受賞。「池田満寿夫の20年全版画展」を開催、話題を呼ぶ。

同作品は自身の手によって映画化され、

革新大敗北・1979=45歳：*映画「エーゲ海に捧ぐ」も話題を呼ぶ。アメリカを引き揚げ、帰国。

貿易摩擦問題1980=46歳：パイオリニストの佐藤陽子と結婚。初の写真展「お尻の美学」を開催。

中曽根内閣・1982=48歳：映画「窓からローマが見える」、「池田満寿夫25年の歩み」展を全国巡回。

1984=50歳：トランペット奏者小玉和文との共演レコード「an endless」発売。初の陶芸個展「炎と土に魅せられて」開催。NHKテレビ推理ドキュメント「謎の絵師・写楽」で中村此蔵説を発表。

バブル始・1986=52歳：熱海に「満陽工房」を設立。

リクルート事件・1988=54歳：日本雑学大賞。

昭和天皇没・1989=55歳：長野市にブロンズ製モニュメント「アポロンの水瓶」を設置。コンピュータ・グラフィックス版画発表。

ドイツ統一・1990=56歳：佐久市立近代美術館に陶壁「佐久讃歌」を設置。

55年体制終・1993=59歳：山梨に「満寿夫八方窯」を設置。

オムロン事件・1995=61歳：フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展優秀賞。

金融破綻・1997=63歳：急性心不全のため、没した。

長野市に「池田満寿夫美術館」開館。